NEWS RELEASE

2026 年 10 月 30 日

花のまちづくりコンクール推進協議会

第 36 回（2026 年）全国花のまちづくりコンクール 受賞者決定
～花の社会性がまちをつくる～

花のまちづくりコンクール推進協議会（会長 大橋徹二）は、第 36 回（2026 年）全国花のまちづくりコンクールにおいて、賀来宏和氏を審査委員長とする審査会の厳正な審査を経て、全国応募総数 722 件の中から各賞受賞者を決定しました。

【コンクール概要】

全国花のまちづくりコンクール（提唱：農林水産省及び国土交通省、主催：花のまちづくりコンクール推進協議会）は、1990 年に開催された国際花と緑の博覧会の理念「自然と人間との共生」を継承し、花のまちづくりの発展及び花の社会性の向上を目的に、1991 年より全国各地の優れた花のまちづくり活動を表彰しています。

【対象】

全国の「市町村」「団体」「学校」「個人」「企業」

【特徴「花の社会性」】

花は、人と人、人と社会をつなぐツールです。花が地域社会に及ぼすプラスの影響を「花の社会性」と呼んでいます。花のまちづくりは、地域の環境づくりやコミュニティづくり、人づくりに資する「花の社会性」をまちづくりに活かす活動です。

【花のまちづくりコンクール推進協議会　構成団体】

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会　　公益財団法人都市緑化機構

全国花みどり協会　　公益財団法人日本花の会

【受賞者】

別紙の通り。表彰式及び受賞者交流会は、12 月 11 日（金）に法曹会館（東京都千代田区）で開催予定です。

【お問い合わせ先】コンクール事務局：公益財団法人日本花の会（小山）

（2026 年 12 月迄） 〒105-8316 東京都港区海岸 1-2-20 汐留ビルディング 9 階 （TEL）03-6849-9821

（2027 年 1 月より）〒107-8414 東京都港区赤坂 2－3－6 コマツビル（TEL 決定後 HP 掲載）

お問い合わせフォーム（QR 左）

https://www.hananokai.or.jp/contact/

審査結果 受賞者掲載（QR 右）

https://www.hananokai.or.jp/city/city-winning/

第３６回（２０２６年）全国花のまちづくりコンクール受賞者一覧

応募者数 ７２２ 件

（市町村部門 ４ ）（団体部門 ４８８ ）（学校部門 １５９ ）（個人部門 ５９ ）（企業部門 １２ ）

大賞 【5件】

大賞 農林水産大臣賞	団体部門	市井自治会 市井コミュニティー花壇	富山県射水市
	個人部門	松浦 さつき・千春	兵庫県たつの市
大賞 国土交通大臣賞	団体部門	天浜線 人と時代をつなぐ 花のリレー・プロジェクト	静岡県浜松市
	個人部門	角所 誠司・いづみ	兵庫県南あわじ市
大賞 文部科学大臣賞	学校部門	恵庭市立恵み野中学校	北海道恵庭市

優秀賞 【１０件】

優秀賞	市町村部門	金沢市	石川県金沢市
		三島市	静岡県三島市
	団体部門	特定非営利活動法人ゆめきらりこまがわ	埼玉県坂戸市
		下村活性化委員会	和歌山県田辺市
		NPO法人門司港レトロ花の会	福岡県北九州市
		園芸福祉ふくおかネット	福岡県福岡市
	学校部門	喜多方市立慶徳小学校	福島県喜多方市
		姫路市立安富中学校	兵庫県姫路市
	個人部門	牛窓 悦子	大阪府阪南市
	企業部門	有限会社豆蔵	愛知県岡崎市

奨励賞 【７件】

奨励賞	団体部門	堀切地区ボランティアの会	愛知県田原市
		花てまりの会	和歌山県那智勝浦町
	学校部門	三島市立長伏小学校	静岡県三島市
	個人部門	松本 茂治	群馬県館林市
		下園 美智子	兵庫県宝塚市
	企業部門	ひたちなかまちづくり株式会社	茨城県ひたちなか市
		株式会社金沢村田製作所	石川県白山市

入選 【３６件】			
入選	団体部門	習志野台団地 花愛好会	千葉県船橋市
		上堀駅を愛する会	富山県富山市
		高岡市立醍醐公民館 花と緑の推進部会	富山県高岡市
		五郎丸町内会・集落資源保全隊	富山県小矢部市
		花と緑の銀行上市支店	富山県上市町
		関田西高砂会・関田東高砂会	愛知県春日井市
		花まるOBUプロジェクト	愛知県大府市
		特定非営利活動法人田原菜の花エコネットワーク	愛知県田原市
		さつき福祉会 さつき障害者作業所	大阪府吹田市
		シーマークス・タテニワ倶楽部	兵庫県神戸市
		伊丹市フラワーリーダー同好会8期生	兵庫県伊丹市
		サポーターズガーデン	兵庫県伊丹市
		鶉野中町花家族の会	兵庫県加西市
		あさごなでしこの会	兵庫県朝来市
		ふれあいガーデン「くすな」	広島県広島市
		西小倉花壇整備部会	福岡県北九州市
		チーム草香江クリーン	福岡県福岡市
	学校部門	三沢市立第三中学校	青森県三沢市
		五霞町立五霞中学校	茨城県五霞町
		館林市立第九小学校	群馬県館林市
		伊奈町立小針北小学校	埼玉県伊奈町
		菊川市立小笠北小学校	静岡県菊川市
		明石市立清水幼稚園	兵庫県明石市
		学校法人野間幼稚園	兵庫県伊丹市
		みなべ町立高城小学校	和歌山県みなべ町
		認定こども園 高見の森保育園	福岡県北九州市
	個人部門	吉塚 志津恵	愛知県江南市
		房谷 弘之	兵庫県姫路市
		奥川 きみ子	兵庫県西宮市
		尾花 幸雄	兵庫県加西市
		苅尾 安正・希美子	兵庫県たつの市
		仁禮 久美子	福岡県北九州市
	企業部門	キヤノンファインテックニスカ株式会社	埼玉県三郷市
		おかもとポンプ株式会社	東京都荒川区
		タニザワフーズ株式会社	愛知県岡崎市
		武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園	京都府京都市

特別賞 【６件】

当コンクールにおいて入賞回数が規定回数に達した継続的な活動を特別に称えます

（ゴールド賞 入賞回数１０回）（シルバー賞 入賞回数５回）

特別賞 ゴールド賞	団体部門	伊丹市フラワーリーダー同好会8期生	兵庫県伊丹市
特別賞 シルバー賞	団体部門	花と緑の銀行上市支店	富山県上市町
		天浜線 人と時代をつなぐ 花のリレー・プロジェクト	静岡県浜松市
		特定非営利活動法人田原菜の花エコネットワーク	愛知県田原市
		ふれあいガーデン「くすな」	広島県広島市
	学校部門	認定こども園 高見の森保育園	福岡県北九州市

以上

第 36 回（2026 年）全国花のまちづくりコンクール

大賞　農林水産大臣賞

【団体部門】市井自治会 市井コミュニティー花壇（富山県射水市）

富山県射水市で、2000 年から市井自治会の住民約 30 人が、約 200 ㎡の花壇の植栽整備に取り組んでいます。2018 年には子どもたちが親しめる花壇を目指して再整備し、自治会、老人会、児童会が一体となって花を通じた交流や健康づくりを推進するとともに、子どもたちが自然に参画できる環境を整えました。行政との連携やスキルアップ研修を通じて、栽培技術の高さを維持している点に加え、多世代で活動を継続しながら良好な地域コミュニティを育んでいる点や、公民館に集う住民が「きららか射水 100 歳体操」実施後に花がら摘みや除草を行うなど、園芸をコミュニケーションツールとして活用し、健康づくりや交流促進につなげている点が、大変高く評価されました。





大賞　農林水産大臣賞

【個人部門】松浦 さつき・千春（兵庫県たつの市）

兵庫県たつの市で、家族三代にわたり約 60 年、「目と心に栄養を！」をモットーに花のまちづくりを続けています。母が生前育んだ「ちづちゃんの花園」を 2019 年頃から姉妹が受け継ぎ、約 1,100 ㎡の敷地では、自家採種による一年草を主体とした温かみのある花園を維持するとともに、妹が開設したカフェも核となって憩いの空間を創出しています。三代にわたり循環型の花づくりを実践し、農薬や除草剤に頼らない活動を継続していることに加え、姉妹の代では子どもたちや高齢者との交流のほか、コンサートやマルシェの開催などを通じて世代や地域を超えた交流の輪を広げ、地域コミュニティの活性化に貢献している点が、大変高く評価されました。





第 36 回（2026 年）全国花のまちづくりコンクール

大賞　国土交通大臣賞

【団体部門】天浜線 人と時代をつなぐ 花のリレー・プロジェクト（静岡県浜松市）

静岡県の天竜浜名湖鉄道沿線で、浜松いわた信用金庫・天竜浜名湖鉄道・はままつフラワーパークの共同事業として、2018 年から、学校・企業・地域団体・行政・住民等の参加によるアダプト・プログラムのもと、花のまちづくりを実施しています。2023 年の当コンクール国土交通大臣賞受賞を契機に、学生との連携強化や観光ガイドの刷新、航空会社との観光商品の開発など活動の幅を広げ、現在は 145 団体約 4,500 人が参加、協働により総延長約 68㎞、約 6,000 ㎡にわたる花のまちづくりを展開しています。花による景観づくりを通じて地域の交流やにぎわいを創出するとともに、各団体が担当駅の花の演出に誇りを持って取り組み、参加者の対話や交流を促進するとともに、学校・地域・企業活動の活性化や鉄道利用促進などにもつなげている点が、大変高く評価されました。





大賞　国土交通大臣賞

【個人部門】角所 誠司・いづみ（兵庫県南あわじ市）

兵庫県南あわじ市で、2008 年から夫妻で自宅敷地内にある約 300 ㎡の庭園づくりと地域交流に取り組んでいます。多様な草花や樹木を巧みに配置し、淡路瓦や流木など地域素材や廃材を活用した独創的な庭園を整備するとともに、2015 年からはオープンガーデンを開催し、本年度は約 500 人が訪れるなど、子どもから高齢者まで幅広い世代との交流や花を介した環境教育活動を実践しています。地域文化や風土を生かした独自性の高い庭園を高い水準で維持していることに加え、自邸を地域に開かれた交流拠点として発展させるなど、継続性、公共性、地域貢献性を兼ね備えた花と緑による地域づくりの先導的な実践となっている点が、大変高く評価されました。





第 36 回（2026 年）全国花のまちづくりコンクール

大賞　文部科学大臣賞

【学校部門】恵庭市立恵み野中学校（北海道恵庭市）

北海道恵庭市で、1989 年の開校以来、生徒・教職員・PTA・卒業生・地域住民が連携し、全校一丸となって校内花壇の整備をはじめ、駅前や商店街などの植栽・美化活動を継続しています。花のまち・恵庭の一員として、花のまちづくりを「ふるさと教育」の柱の一つに位置付け、2026 年度には持続可能な取り組みを目指して生徒有志によるボランティア組織「花育て隊」が発足するなど、花を介した地域貢献や地域との連携を実践しています。地域全体を活動の場としている点に加え、花のまちづくりを教育課程に組み込むことで生徒の主体的な参画が育まれ、教職員の異動後も活動を継承・発展できる仕組みが確立されている点が、大変高く評価されました。





